



74th

CRC Seminar

池田 和博 氏

埼玉医大・ゲノム医学研究センター 講師

池田和博氏は、本学大学院連合農学研究科の1997年度修了生です。博士課程以来ステロイドホルモンの作用機構を研究し、たくさんの成果をあげています。大学院学生の皆さん、是非参加して先輩と語り合ってください。

エストロゲンの作用機構と生体における役割

日時: 2012 年 12 月 21 日(金) 16:00～17:30

場所: 総合教育研究棟 遠隔講義室

女性ホルモンであるエストロゲンは、生殖系に加えて、骨や脳などの生殖系外の臓器、ならびに乳癌、子宮癌などの病態にも深く関与している。エストロゲンは転写因子として機能するエストロゲン受容体(ER)を介して標的遺伝子の発現を制御する。従って、エストロゲン標的遺伝子の機能解明はエストロゲンの様々な生理的ならびに病態生理的作用の理解とともに新たな分子標的としての応用に繋がると考えられる。我々は、乳癌におけるエストロゲン標的遺伝子を同定し、予後規定因子となりうることを明らかにした。また、活性型 ER を用いた遺伝子改変マウスの解析により、骨芽細胞と軟骨細胞における ER の作用機構を示した。さらに、エネルギー代謝に関わるエストロゲン標的遺伝子を解析しており、最近のデータも含めてご紹介したい。

(堤 内線 6242, kentsu@iwate-u.ac.jp)